



# 学校だより

令和 元年 7月11日  
第12号  
四日市市立小山田小学校

## 1学期も残すところ1週間となりました！

今週も、梅雨空模様の天候が続いていますが、雨の止み間には校庭で元気に遊ぶ子どもたちの姿が見られます。また授業中は、どの学年の子どもも各教科の確認テストに真剣な表情で取り組んでいます。

さて、すでにご案内したとおり、来週の16日（火）から18日（木）には、各学年とも1学期の個人懇談会を実施します。懇談会では、「あゆみ」（連絡表）をお渡しし、1学期のお子さんの学習と生活の成長をお知らせします。

ご家庭でも、ぜひお子様のよいところ、努力したところを大いに褒めていただき、2学期への意欲へとつなげていただくようお願いします。



学校花壇の満開のラベンダー

## 4年生が下水道の勉強をしました！

4日（木）の5・6限目に、四日市市上下水道局から2名の職員の方をお招きし、4年生が社会科の学習として下水道の勉強をしました。初めに、四日市市の下水道の仕組みや下水処理施設（日永浄化センター）についてのDVDを観ました。次にクイズ形式で、炊事や洗濯、お風呂などの1日の生活に使用する水の量は1人250ℓにもなり、そのほとんどが汚水として排水されることや、大さじ1杯の醤油を川に流すと魚が住めるようにするためにお風呂1.5杯、てんぷら油500mlだとお風呂330杯分の水で薄めなければならないことなどを学びました。続いて、8つの班に分かれて、ビニールコップの水にティッシュペーパーとトイレトペーパーをそれぞれ入れ、お箸でかき回して溶け方の違いを観察する実験をしました。子どもたちは、「ティッシュは全然溶けやん、固まるだけや」「これやとトイレが詰まるわ」などと驚きの声をあげていました。下水道の授業を通して、子どもたちは、汚れた水をできるだけ流さないようにすることの大切さを実感していました。



## 親子で和菓子作りに挑戦しました！

6日（土）の午前中に、PTA文化交流部主催の「親子でかんたん和菓子作り」が家庭科室で行われました。今年も御菓子司 菓子五の 須藤 治 さんにご指導いただき、子ども18名と保護者15名、職員5名の計38名が6つの班に分かれ、「水まんじゅう」「いばら餅」「練きり」の三種類の和菓子作りに挑戦しました。生地や餡子（あんこ）などの材料の下準備等をしていただいたおかげで、それぞれ飾りや形を工夫した個性ある和菓子ができあがりしました。完成後は、「子どもの未来を語る会」と題して、自分の作った和菓子をいただきながら、各班で子育てについての座談会を持ちました。大人も子どももおいしいお饅頭に笑顔になりながら「一緒に食べることって大切だね」などの話が出て和やかな時間となりました。ご参加いただいた保護者のみなさん、ありがとうございました。



# 町別児童会

5日（金）の1限目に、各地区の登下校時の児童の実態把握や安全な集団登下校ができる縦割り集団づくりを目的として、第2回町別児童会を行いました。今回は、夏休み前ということもあり、児童の様子を見ていただくために、各町の民生委員・児童委員の方に参観していただいた後、子どもたちにも紹介させていただきました。

内容は、1学期の登下校の反省、倒壊の恐れがある壁やサル等野生動物の出没箇所、交通安全上の危険箇所等の確認、夏休み中のラジオ体操やお祭りなどの地区行事等の確認でした。各地区ともに登下校については、子どもたちから、よい点として「地域の人にあいさつができて」「横断歩道で待ってもらっている車にきちんとお礼ができる」、反省点としては「しゃべっていて間があいたり、列や班が乱れたりしている」「白線のないところで道に広がって歩いている」等の声が聞かれました。最後に、民生委員の方々から「事故なく元気に登校してくれてうれしいです」「真剣に話し合っていて感心しました」などの感想や、民生委員だけでなく地区のお年寄りも見守ってくれていることなどをお話いただきました。学校では、自分からあいさつすることが地区の人とのつながりをつくり、不審者や不調時の対応、突発的な事故などから自分を守ることにつながることを指導しています。

特に夏休み中は、日中、子どもたちが屋外に出る機会が増えます。地域の方におかれましては、夏休み中も子どもたちを見守っていただき、何か心配なこと等ありましたら学校までご連絡いただきますよう、お願いいたします。



## 給食のトウモロコシの皮をむいたよ！

9日（火）の5限目に、1・2年生が食育の学習として給食で使うトウモロコシの皮むきを体験しました。初めに栄養職員の安藤先生より、おしりからむくことなど皮のむき方を手本を示してもらいながら教えていただきました。続いて、本校となかよし給食の高花平小学校の分、約430人分（約110本）のトウモロコシを1人2本ずつむきました。1本目は、途中で皮が破れたりヒゲ（めしべ）がきれいに取れなかったりしていた子たちも、2本目はきれいにむけるようになりました。子どもたちに聞いたところ、約3分の一の子が今までにトウモロコシの皮むきをしたことがあるということで、低学年からお家でお手伝いをさせてもらっている子どもが多いことに感心しました。翌10日（水）の給食では、自分たちでむいたトウモロコシを「ぼくたちがむいたんやにー」「おいしい」と言いながらみんな嬉しそうに食べていました。

